

児童虐待チェックリスト

子どもの行動や状況

- ・ 不自然な外傷(あざ、打撲、骨折、火傷、タバコを押つけた跡)がある。
- ・ 表情が乏しい(無表情、凍てついた凝視)。人を避けようとする。
- ・ 態度がおどおどしている。親の顔色を窺ったり、親を避けようとする。
- ・ 落ち着きが無く乱暴。他の子どもに対して攻撃的な態度をとる。
- ・ 集団から離れ、孤立していることが多い。
- ・ 自虐的行為をする。(例えば、頭を壁に打ち付けたりする。)
- ・ 髪の毛や手足など極端に不潔。
- ・ 季節や気温にそぐわない服装をしていたり、衣服がいつも汚れている。
- ・ 子どもだけで食事をしていたり、食事をきちんと取っていない。
- ・ 食事に対して異常な執着を示す。
- ・ 夜遅くまで外で遊んだり(不自然な時間の徘徊)、家に帰りたがらない。
- ・ 極端な栄養障害や発達の遅れ(低身長・低体重)。
- ・ 性的なことに過度の関心がある。あるいは男性を極端に避ける。



家庭、保護者等の行動や状況

- ・ 子どもを残したまま外出していることが多い。
- ・ 地域や親族と交流がなく、孤立状態にある。
- ・ 子どもの外傷等を問われた時、不自然な説明をする。
- ・ 子ども間に養育態度の差がある。
- ・ 家庭の経済状況が不安定で、生活や気持ちにゆとりがない。
- ・ 家庭内に同居者間での暴力(DV)などがある。
- ・ 家庭内が著しく乱れている。不衛生である。
- ・ 子どもに関する他者の意見に被害的、攻撃的になりやすい。
- ・ 気分の変動が激しい。精神的に不安定である。



※ これらの兆候が必ずしも虐待に結びつくとは限りませんが、このような状況がみられた場合、行動・態度に注意を払う必要があります。